

今日のキーワード「大学生の就職率」、過去最高を更新（日本）

「大学生の就職率」は、文部科学省と厚生労働省が共同で調査する「大学等卒業者の就職状況調査」で知ることができます。両省は、共同で大学などの卒業（予定）者の就職（内定）状況について、年4回（10月、12月、2月、4月の各1日時点）の調査を行い、各翌月中旬頃に結果を発表しています。地域別、文系・理系別、男女別などの状況も把握できます。

ポイント1

「大学生の就職率」は97.6%

1996年度の調査開始以来、過去最高を更新

- 5月19日に発表された「2016年（平成28年）度大学等卒業者の就職状況調査（4月1日現在）」によると、今春卒業の「大学生の就職率」は前年同期比+0.3ポイントの97.6%となりました。6年連続の上昇となり、1996年度の調査開始以来の最高を更新しました。卒業生全体（進学希望者、自営業、家事手伝いなどを含む）に占める就職希望率は同+0.7ポイントの74.7%と、こちらも改善しました。
- また、高校生の就職率は98.0%と、1990年度以来26年ぶりの高水準となりました。

ポイント2

女子と理系の就職率が高い

地域別ではまちまちの結果

- 項目別に見ると、男女別では、女子は同+0.4ポイントの98.4%、男子は同+0.2ポイントの96.9%と、5年連続で女子の就職率が男子を上回っています。また、文系・理系別では、理系は同+0.5ポイントの98.7%、文系は同+0.2ポイントの97.3%と、理系が文系を上回っています。
- 地域別では、関東地区が同+0.9ポイントの98.8%と最も高くなりました。また、九州地区では同+1.3ポイントと最も上昇したほか、近畿地区でも上昇しました。一方、北海道・東北地区、中部地区、中国・四国地区では就職率が低下し、全国的にはまちまちの結果となりました。



今後の展開

人手不足のなか、今年も売り手市場が続く

- 雇用情勢を見ると、景気の緩やかな回復や企業業績の好調さを背景に、失業率や求人倍率の改善が続くなか、人手不足も懸念されています。今年度も、企業は大学等の卒業者に対して活発に採用を行うと見られ、売り手市場が続いています。今年も昨年同様、まもなく6月からいよいよ選考が本格化します。企業も学生もお互いをよく知り、将来の長きにわたる“パートナー”を探す大事な時期となりそうです。

ここも チェック!

2017年5月18日 「夏のボーナス」は昨年並みの見込み（日本）

2017年5月15日 「街角景気」、5カ月ぶりに改善（日本）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。